

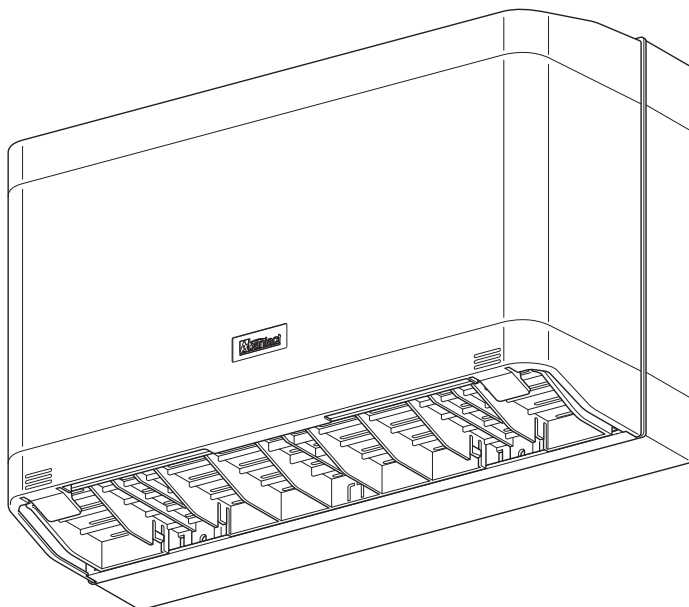
**情報盤**

**ATXタイプ**

**施工・取扱説明書**

施工編

取扱編



**設置場所について**

- 本製品は、メンテナンスしやすく、配線効率の良い住宅の最上階の納戸などに設置することをおすすめいたします。
- テレビやラジオなどの家電製品が置かれた所には設置しないでください。受信障害や通信障害の原因になる可能性があります。

**施工業者様へ**

- 本製品の施工には、電気工士の資格が必要です。
- 電気通信回線などの端末設備などを接続するためには、工事担任者の資格が必要です。
- 本製品の施工前に必ずこのマニュアルをお読みください。
- この施工・取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

**安全上のご注意**

施工する前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。
- 使用されている警告表示および図記号の意味は以下のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- 警告** この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
- 注意** この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定されることを示しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

- ⊘ 禁止 (してはいけないこと) を示します。!
- Ⓛ 強制 (必ず守ること) を示します。

**警告**

- ⊘ 屋外または外壁の内壁面に設置しないでください。本製品は、屋内専用となっています。
- ⊘ 電源コードや内部機器を加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねないでください。また、重い物をのせたり、はさみこんだりしないでください。本製品や内部機器の故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
- Ⓛ アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の場合に感電する可能性があります。
- ! 交流100Vで使用してください。過電圧を加えると過熱し、故障、発煙、火災、感電の原因になる可能性があります。
- ! 付属の電源ケーブルを使用してください。本製品の付属以外の電源ケーブルを使用した場合、故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
- ⊘ 電源をONにした状態で本製品や内部機器の操作や接続をしないでください。感電の原因になる可能性があります。
- ! 本製品を壁面に確実に取り付けてください。天井面や上下逆さ、傾けるなどの不安定な状態で取り付けられた場合、本製品の脱落によっての怪我や故障の原因となる可能性があります。
- ! 低圧屋内配線と弱電流配線が接触しないように配線を行ってください。
- ! 結線する場合は、電線を端子の奥まで確実に差し込んでください。

**注意**

- ⊘ 以下の場所に設置しないでください。
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・暖房器具などの近くなど高温になる場所
  - ・台所、浴室、洗面所などの水気や湿気の多い場所
  - ・振動の大きい場所
  - ・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
  - ・ほこりの多い場所やじゅうたんなどの保温性、保湿性の強い場所
  - ・腐食性ガスの発生する場所
  - ・強い磁気や電磁波が発生する装置がある場所
  - ・壁の中などお手入れが困難な場所
  - ・住宅以外の屋内設備 (本製品は家庭環境における使用を想定しています)

本製品や内部機器が損傷することによって、故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。絶縁抵抗 (メガ) 測定をする場合は電源線を外してください。



# 目次

## 施工編

掲載ページ

|                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| 目次                                    | 2     |
| 1. 各部名称および基準寸法図                       | 3     |
| 2. 施工に際して                             | 4     |
| 3. 情報盤の取り付け                           | 5     |
| 4. TELケーブル 接続方法 (マルチメディアパネルTEL M4/M8) | 6     |
| 5. TVケーブル結線方法                         | 7     |
| 6. LANケーブル結線方法                        | 8     |
| 7. 電源線接続方法                            | 9     |
| 8. ネットワーク機器の収容棚などの設置について              | 10    |
| 9. トレイロックアウトについて                      | 10    |
| 10. 機器転倒防止バンパーについて                    | 10    |
| 11. リセットスイッチについて                      | 11    |
| 12. 内蔵機器の取り付け方法について                   | 12~13 |
| 13. 他社製機器の取り付け方法について                  | 14    |
| 14. 外付アタッチメントについて                     | 15~16 |

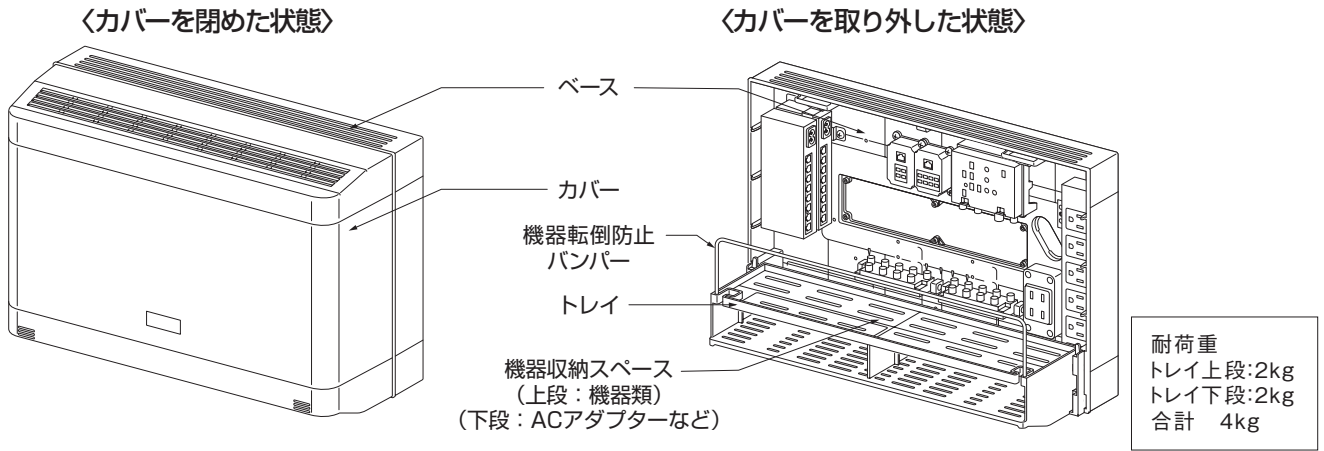
## 取扱編

掲載ページ

|                   |    |
|-------------------|----|
| 1. 情報機器配線システムについて | 18 |
| 2. 機器接続手順         | 19 |
| 3. 接続上のご注意        | 20 |
| 4. 故障かなと思ったら      | 21 |
| 製品保証書             | 22 |

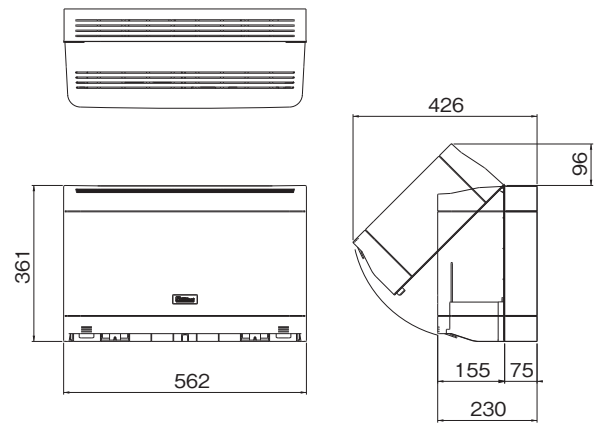
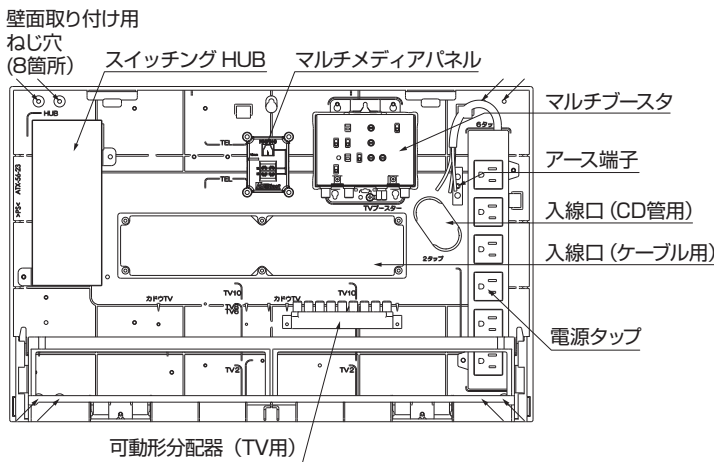
## 1 各部名称および基準寸法図

### 外部



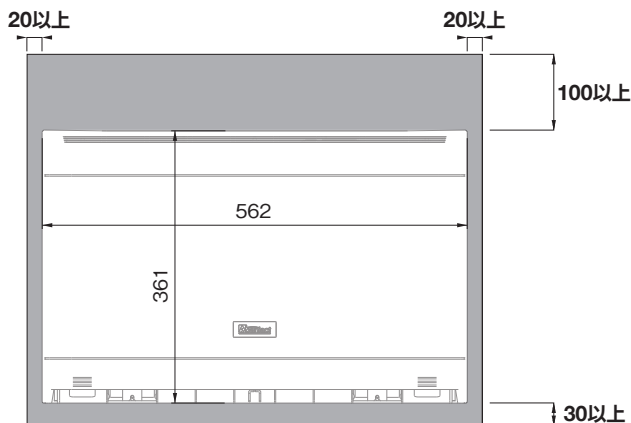
### 内部 ※下図の設置内容および取り付け位置は一例です。

### 基準寸法 (mm)

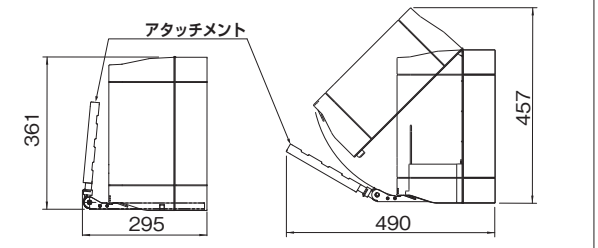


### 設置スペース・開口寸法 (mm)

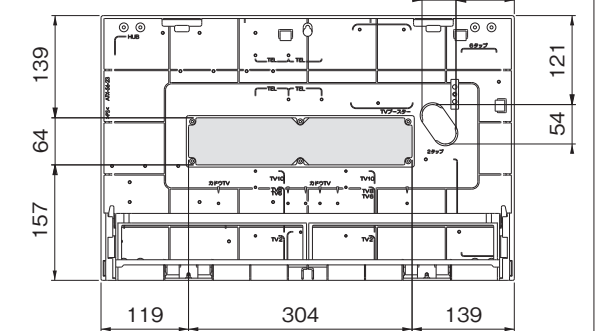
- 設置面には、下図の網掛け部の寸法以上を確保してください。
- ※1: 情報盤から天井面まではカバーの開閉のために必要です。
  - ※2: 情報盤の下面と左右は、メンテナンスおよびスリット放熱のために必要です。



### 外付けアタッチメントを取り付ける際の必要寸法 (mm)



### 背面入線口図 (mm)

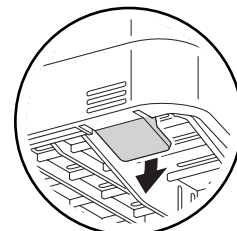
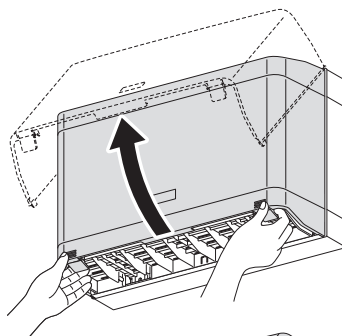


## 2 施工に際して

### カバーの取り外し方

1. カバー下面の両サイドにあるツメを下に引き、カバーの引っ掛けを外します。

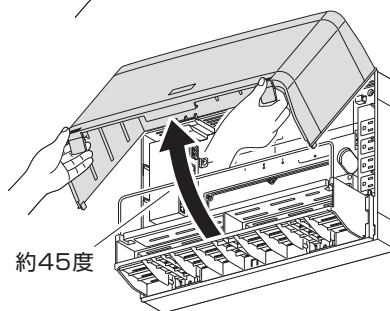
注 ツメを引きすぎるとツメが折れる場合があります。軽くツメを引いてください。



拡大図

2. カバーを持ち上げて開けます。

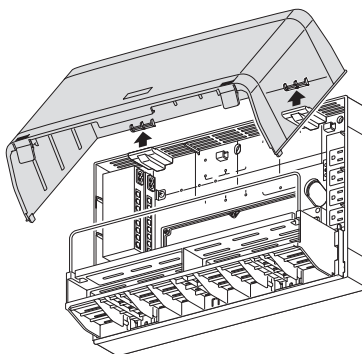
注 必ず両手でしっかりと持って操作してください。脱落する可能性があります。



約45度

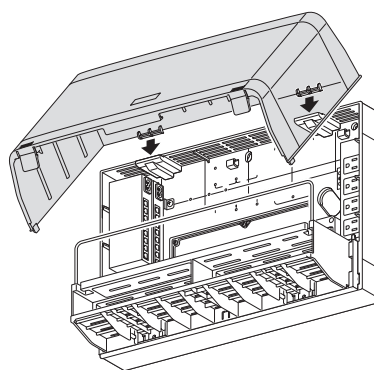
3. カバーを開けた状態で、カバーを真上に持ち上げると外すことができます。

注 必ず両手でしっかりと持って操作してください。脱落する可能性があります。約45度の開口でベースのヒンジ部からカバーが外れます。



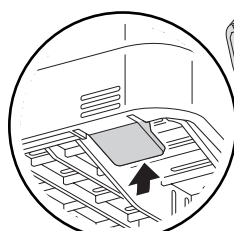
### カバーの取り付け方

1. 装着は「カバーの取り外し方」と逆の手順で、カバーを傾けた状態でヒンジ部に引っ掛けます。

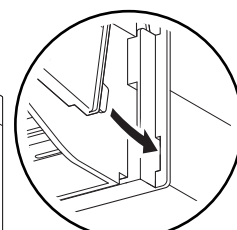


2. そのままカバーを閉めます。

※カバー下面両サイドのツメがトレイに引っかかっていることを確認します。



拡大図



拡大図

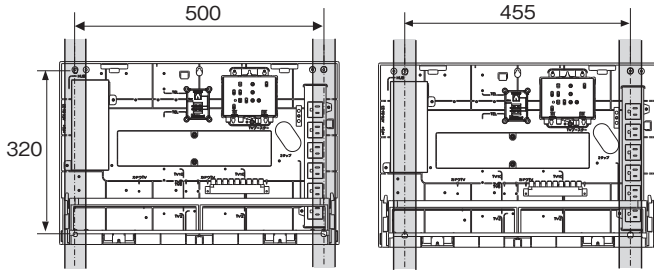
※カバー両サイドのツメがベースの穴に入っているか確認してください。

### 3 情報盤の取り付け

#### 下地・ねじ止め位置

注 木ネジ固定部に、材木などが無い場合、必ず補強下地を入れてください。

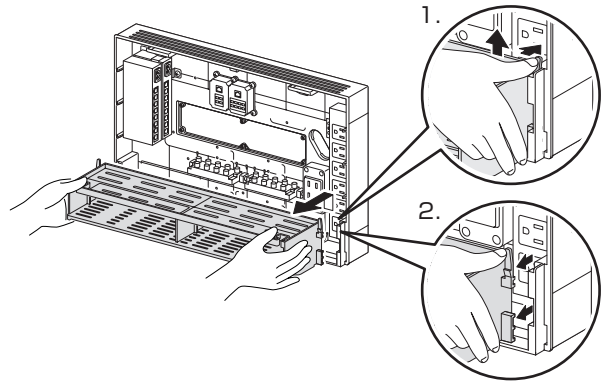
ボックスの固定は上下左右4点を壁面へのねじ止めで行います。芯々455mmと500mmの下地に対応しています。455mmの場合は内側の取り付け穴、500mmの場合は外側の取り付け穴を使用して取り付けしてください。



#### トレイの取り外し

情報盤取付前にトレイを取り外す必要があります。

1. トレイ両サイド上部のツメを奥に押し込みながらトレイを上を持ち上げます。
2. トレイを手前に引くと取り外しできます。

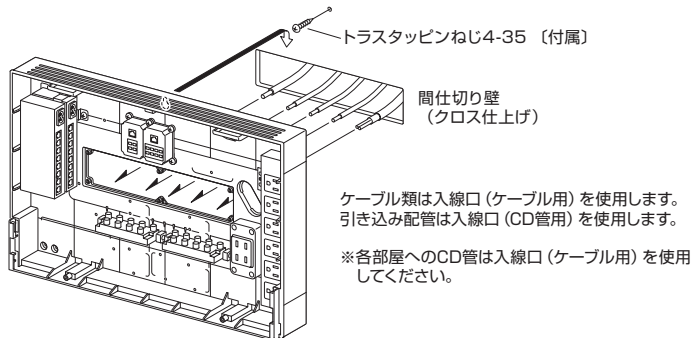


#### 下地・ねじ止め・ケーブルの引き出しと壁取り付け

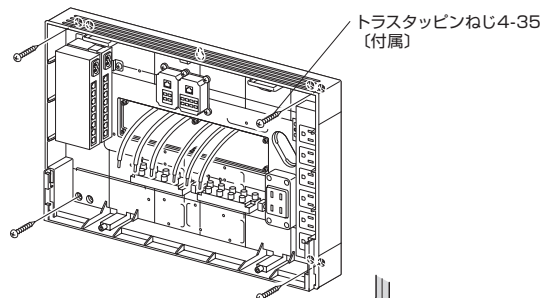
1. 各ケーブル、配管を壁内敷設後、背面入線口図に従い間仕切り壁を開口し、そこからケーブルなどを引き出し入線口からBOX内部に取り出します。  
(梱包材の天板に各寸法が表記されています)

取り付け壁面は必ず平面であることを確認してください。平面ではない場合に取付けますとカバーが閉まらない場合があります。

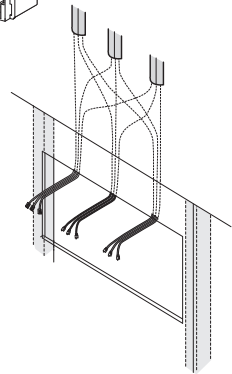
2. ベース上中央部がだるま穴になっております。壁にねじ止め後、情報盤を引っ掛けてください。



3. レベル調整した後、上下左右4カ所ねじ止めにて設置固定してください。



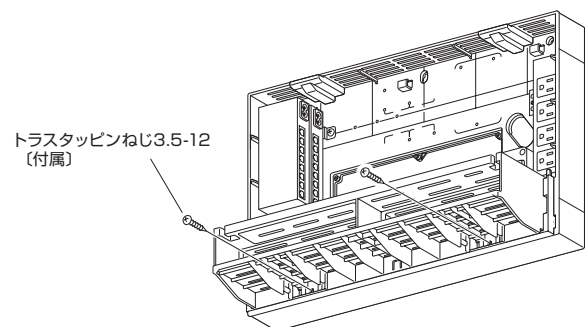
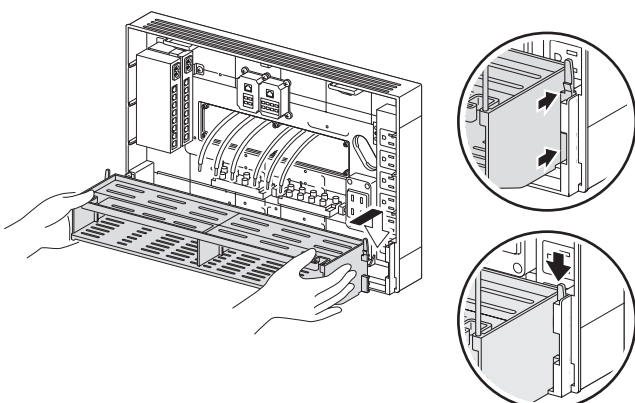
※情報盤内に引き出すケーブルは最小限とし、余剰分は壁内にて調整してください。



#### トレイの設置

1. 情報盤にトレイを下図のように差し込みます。  
※ツメが入り込んでいるか確認してください。

2. トレイとベースを付属ねじで固定します。



# 4 TELケーブル 接続方法 (マルチメディアパネルM4/M8)

\*この器具の施工には工事担任者の資格が必要となります。

お客様の電話・インターネット利用のご要望が分かっている場合は、ご利用状況に合わせて接続してください。  
不明の場合は①加入電話回線で接続してください。

**注** 加入電話回線を解約して、光電話もしくはIP電話に変更される場合は、マルチメディアパネルに接続されているモジュージャックの引き込みを②光電話 (CATV・IP電話) に差し替えてください。

## マルチメディアパネル (Mシリーズ) の場合

### 各部の名称

4分岐仕様 **MMP(M4)**      8分岐仕様 **MMP(M8)**

### 端子結線図

**マルチメディアパネル (M4)**

**マルチメディアパネル (M8)**

### 端子極性図

配線接続は上下で一对となります。

< MMP (M4) >  
L1: [Red] [Green]  
L2: [Blue] [Yellow]

< MMP (M8) >  
L1: [Red] [Green] [Blue] [Yellow]  
L2: [Purple] [Orange] [Brown] [White]

**注** 配線接続は上下で一对

### ①加入電話 (アナログ)

引き込み

各居室のTEL

### ②光電話 (CATV・IP電話)

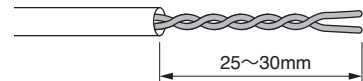
各種電話アダプタ

各種回線

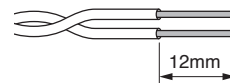
各居室のTEL

## ケーブル結線方法

- ケーブルシースを25~30mmカットします。  
※使用可能ケーブル Cu (銅) 単線 導体径:  $\phi 0.4 \sim \phi 0.65$   
**注** 電線を傷つけないように注意してください。

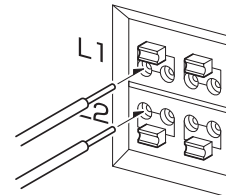


- ケーブル先端を12mmストリップします。  
※マルチメディアパネルの正面にあるストリップゲージを使用できます。  
**注** ストリップ長が短すぎる場合、導通不良のおそれがあります。  
**注** ストリップ長が長すぎる場合、回路間のショート、露出部腐食のおそれがあります。



- マルチメディアパネルにケーブルを結線します。  
ケーブル挿入の際、ケーブルの色とクランプ端子の関係は以下になっておりますので必ず確認してください。

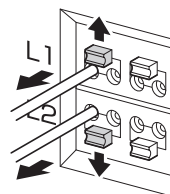
|     |       |
|-----|-------|
| L1側 | シロ/アオ |
| L2側 | アオ    |



## ケーブルの外し方

リリースボタンをマイナスドライバー等で押し下げてください。  
ケーブルを引き離すことができます。

- 注** ケーブルリリース時は強く押しすぎないようにしてください。
- 注** リリースボタンが壊れるおそれがあります。



リリースボタン  
(押下力: 約 1.2 N)

施工編

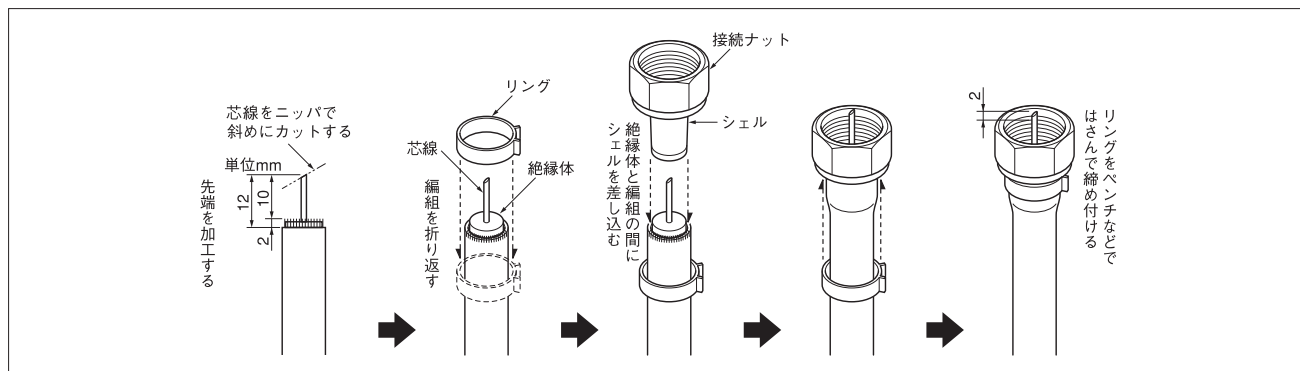
取扱編

# 5 TVケーブル結線方法 (TV機器付の場合)

## 同軸ケーブル (S-5C-FB) へのF型接栓 結線方法

同軸ケーブルの接続施工は、下図のように行ってください。

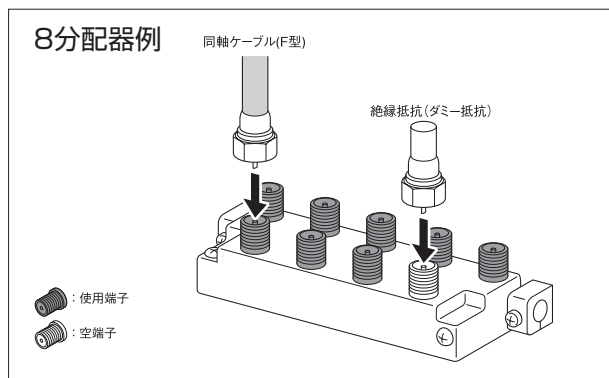
- ① 同軸ケーブルの先端加工をする場合、芯線・編組を傷つけますと断線の原因となります。また、芯線と編組は絶対に接触しないようにしてください。



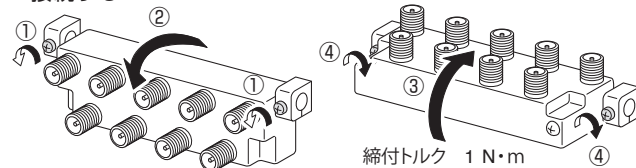
## 可動形分配器の接続

必ずTV分配器の空き端子には絶縁抵抗 (ダミー抵抗) を接続してください。

可動形分配器は本体を回転することができます。同軸ケーブルを接続しやすいように手前に回転させ接続後にケーブルが上を向くように戻します。



- ① 取り付けねじを軽くゆるめる
- ② 仮固定した状態のままで 90°可動させ、ケーブルを接続する
- ③ 90°可動させる
- ④ 取り付けねじをしっかり締め付ける



⚠ 可動形分配器はねじをゆるめてから回転させてください。無理に回転させると破損のおそれがあります。  
\*トレイをBOXに取り付けた状態では可動形分配器は正面向きまで回転できません。

## マルチブースタへの接続方法 (ブースタ搭載機種の場合)

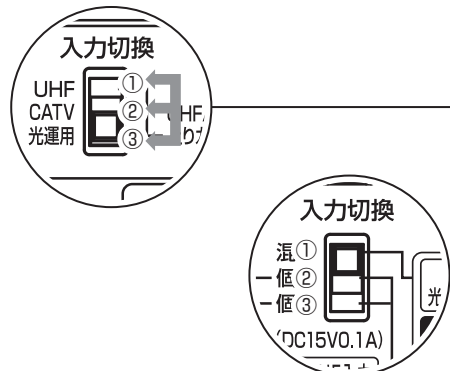
マルチブースタの設定で必要な基本項目です。

※詳細は付属のブースタマニュアルをご参照ください。

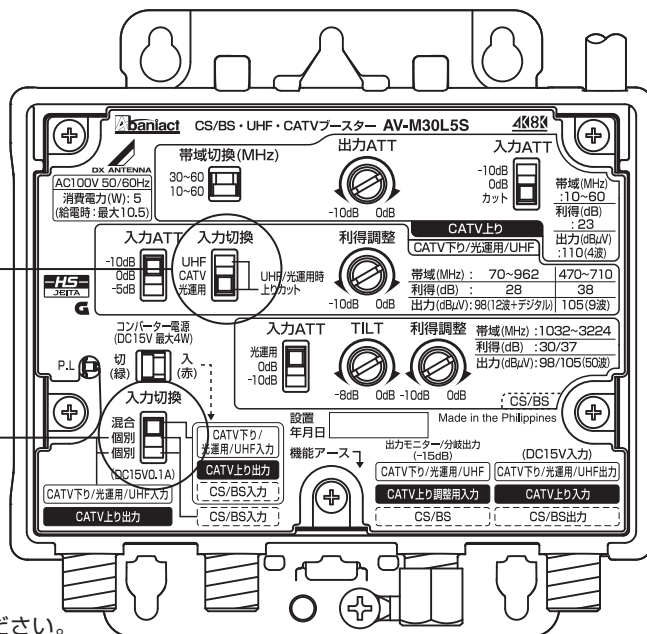
地上波の受信手段によってスイッチを切り替えてください。

- ① : UHFアンテナ
- ② : CATV
- ③ : 光運用《FTTHサービス》

※記載のイラストは品番AV-M30L5Sのものとなります。



地上波とBS/CSの入力は、混合入力が別入力かで、スイッチの上下を切り替えてください。



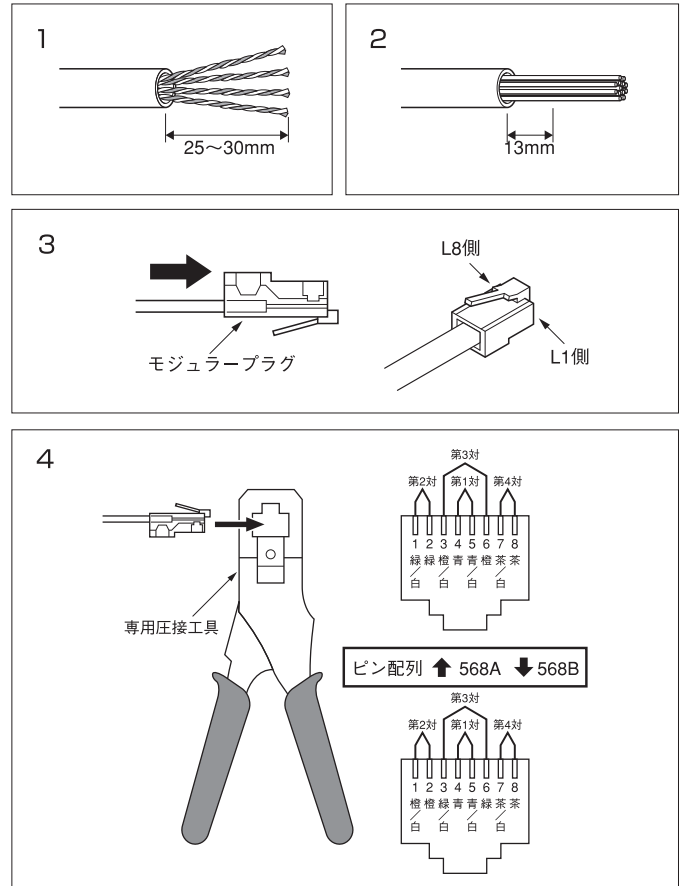
施工編  
取扱編



## 6 LANケーブル結線方法

### LANモジュージャック加工方法 (Cat5eの場合)

1. ケーブルの被覆を約25mm～30mmストリップします。  
**注** 芯線にキズを付けないようにしてください。
2. 芯線の撚りをもどし、シースの端から13mm残して切断します。  
**注** ケーブルの残しは13mmちょうどとしてください。
3. ケーブルの先端の色線を以下のように一列に揃え、モジュラープラグの先端に突き当たるまで挿入します。  
**注** ケーブル色線配列は568Aと568Bの2種類があります。必ず情報コンセント側の結線と合わせてください。
4. ケーブルが挿入されたモジュラープラグを専用の圧接工具にて圧着します。  
**注** ケーブルがプラグ先端まで突き当たり、抜けないようにしっかりと圧着されていることを確認してください。



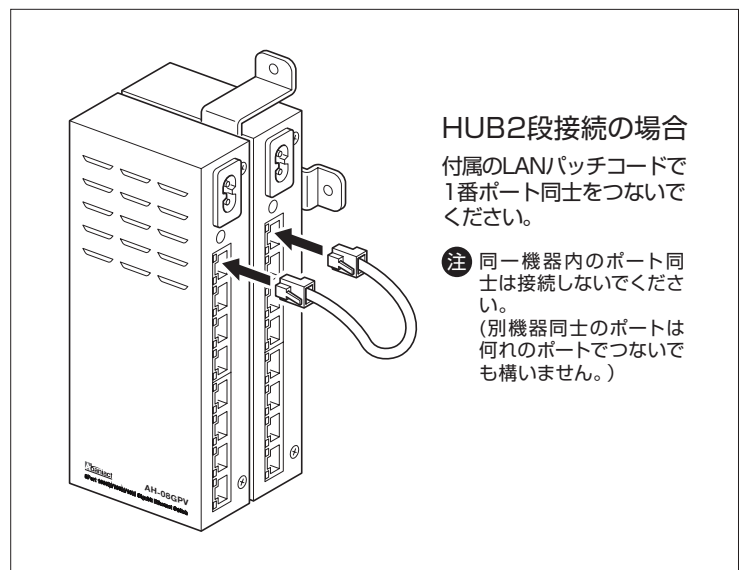
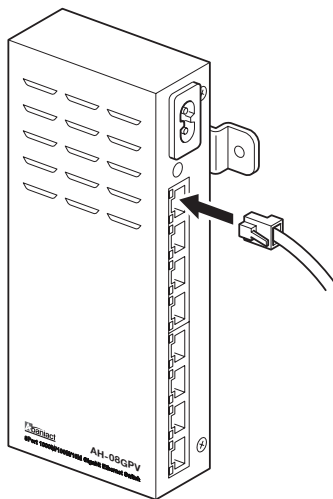
施工編

取扱編

### スイッチングHUBへの結線方法 (HUB搭載機器の場合)

LANケーブル端末加工後、HUBに整然と差し込んでください。  
 ポートは側面に備えられています。

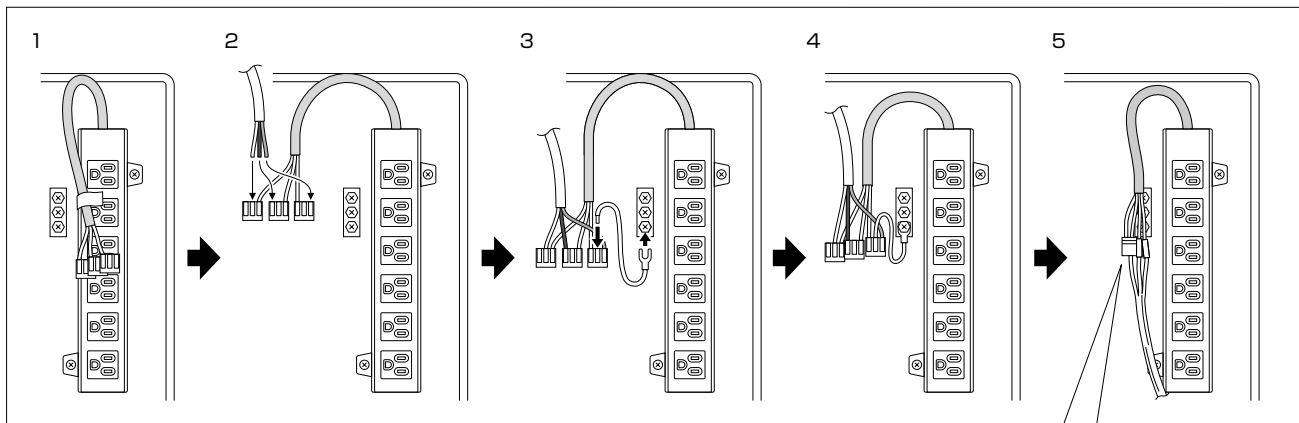
- ※HUB搭載なしの場合は、後程施工主様がLANケーブルを接続しやすいよう、配線を分かり易い位置にまとめておいてください。
- ※HUBの詳しい取り扱い方法は、添付の取扱説明書をご参照ください。
- ※記載のイラストは品番AH-08GPVのものとなります。



# 7 電源線接続方法（電源タップ付きの場合）

電源タップへの接続・仕上げ手順 \*この器具の施工には電気工事士の資格が必要となります。

1. 仮止めされているコードを外し、各線に差込コネクタが接続されていることを確認します。
2. 電源線の被覆をストリップし、各線色同士、差込コネクタを利用して結線します。  
※差込コネクタへの結線方法は、下記を参照ください。
3. 確実に結線されたことを確認した上で、電源タップ左側のスペースに整然と収めます。  
**注** お客様の手に触れないよう、しっかりと収めてください。
4. BOX付属のアース端子へは、差込コネクタから渡り線を施工してください。
5. プレーカを上げて、検電器で通電していることを確認します。

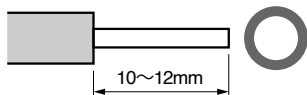


## 結線前に

対応電線：Cu単線 φ1.6、φ2.0

IV7本より線 0.2~2.5mm<sup>2</sup>  
可とうより線 0.14~4.0mm<sup>2</sup>

曲がりをまっすぐにしてください。



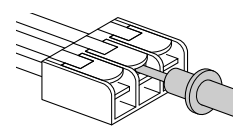
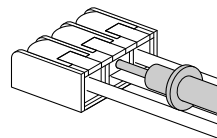
- 注意** ・指を挟まれないようにご注意ください。  
・差し込みが不十分だと導通不良や発熱のおそれがあります。

## 検電方法

検電穴は電線挿入口側と反対側の2ヶ所です。

電線挿入口側

反対側

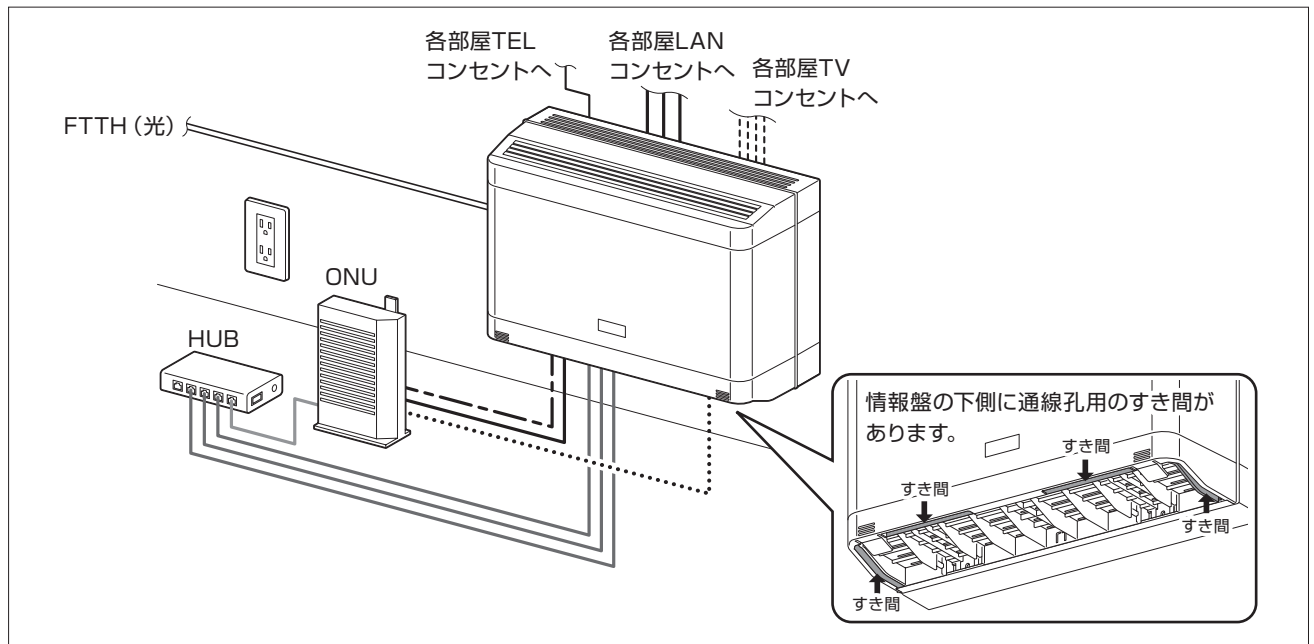


## 差込コネクタへの結線方法

| 電線のむき出し                           | 結線（単線・より線 共通）                                 | 結線の確認                            | 電線の取り外し                                       |
|-----------------------------------|---|----------------------------------|---|
| ①                                 | ②   | ③                                | ④   |
| ⑤                                 |   |                                  |   |
| ストリップゲージで長さを確認し、正しい長さにむき出ししてください。 | レバーを押し上げむき出した電線を突き当たるまで差し込んでください。目視で確認してください。 | レバーを押し下げれば結線完了です。（指はさみに注意してください） | 電線を1本ずつ軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。（強く引っ張らないでください） |
|                                   |   |                                  | ①レバーを押し上げます。<br>②電線を引き抜いてください。<br>③レバーを戻します。  |

## 8 ネットワーク機器の収容棚などの設置について

設置した情報盤近辺の棚にモデムやルータなどを設置する場合、ケーブルの取り出しが必要となります。この場合、情報盤のカバー部には下図のように通線孔用のすき間があり、ここからケーブルを通すことが可能です。



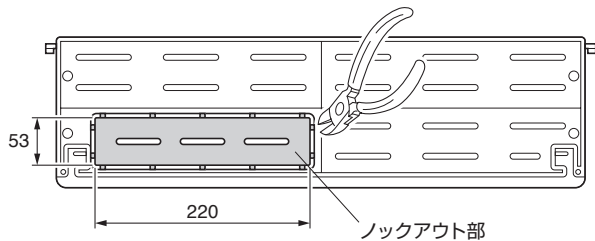
施工編

取扱編

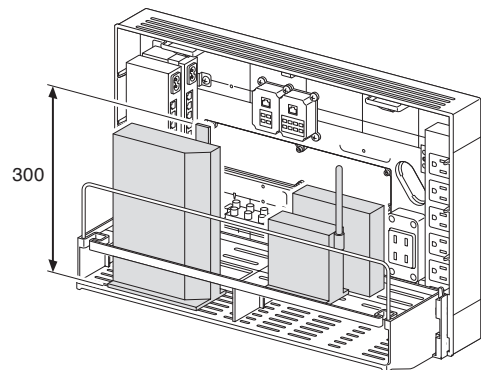
## 9 トレイロックアウトについて

ネットワーク機器の高さが高く情報盤トレイの上に収まらない場合、トレイのロックアウト部を開口することでより大きいネットワーク機器を収納することができます。ゲート部を切り離してロックアウト部を切り取ります。

- 注 配線などをキズつけたりケガをしないように切り取った部分のバリはヤスリなどできれいに仕上げてください。



注：開口可能なロックアウト部は左手前の1か所のみです。

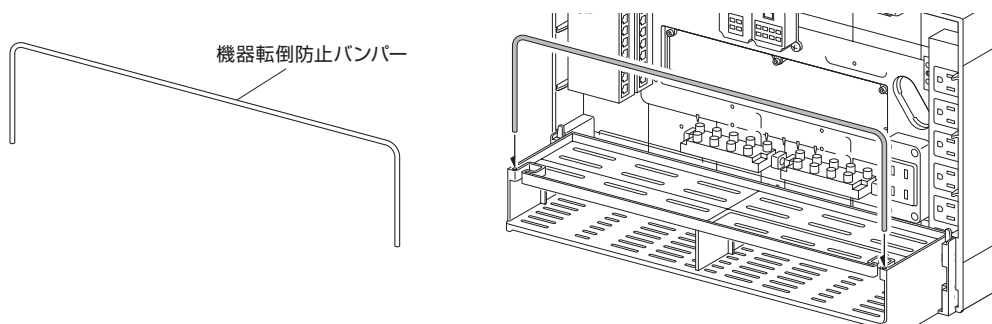


## 10 機器転倒防止バンパーについて（機器転倒防止バンパー付きの場合）

情報盤にネットワーク機器が転倒することを防止するためのバンパーを設置することができます。機器転倒防止バンパーをトレイ両サイド前面の固定穴に差し込んでください。

- 注 機器転倒防止バンパーを差し込む際は、まっすぐ差し込むようにしてください。ななめに差し込むとトレイが割れる可能性があります。

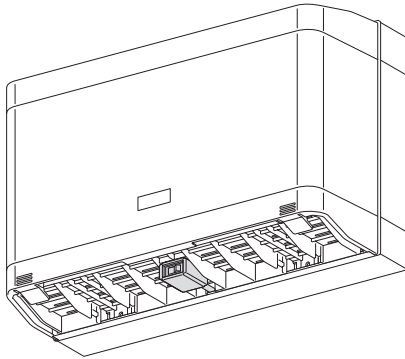
※容易に抜けないよう、しっかりと固定されていることを確認してください。



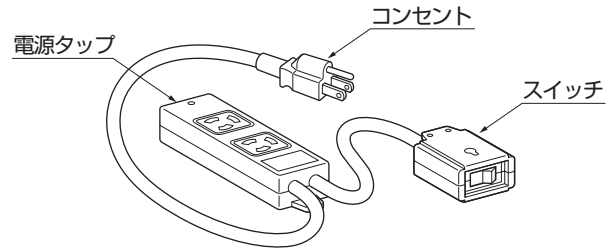
# 11 リセットスイッチについて（リセットスイッチ付きの場合）

停電などの際に、情報機器の電源を一時的に落としてリセットしたい場合、リセットスイッチを切ることによってカバーを開けなくても機器の電源を落とすことができます。

※リセットスイッチが付いている電源タップにつないでいる機器に限ります。



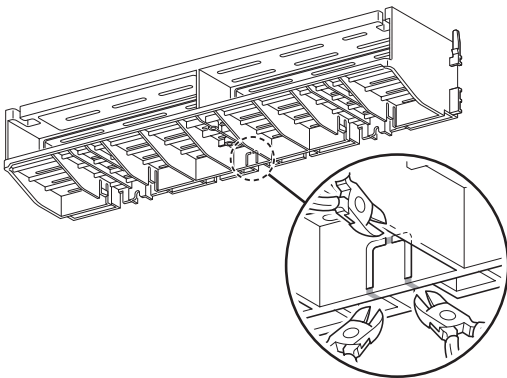
各部の名称



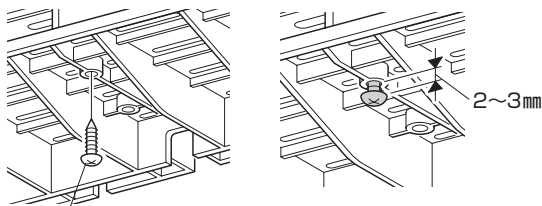
## リセットスイッチの設置方法

1. トレイ中央部のノックアウト部分を切り取ります。

注 切り取ったあとはヤスリなどできれいに仕上げてください。

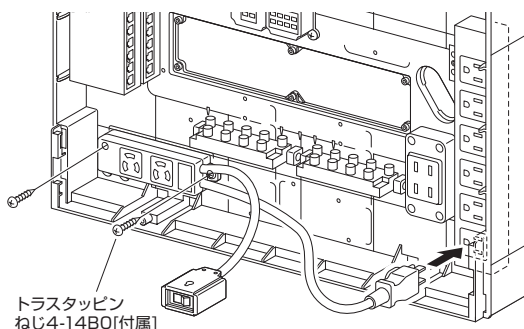


2. トレイ下面にある3つの穴の内の1箇所（図参照）に付属のねじを2～3mm残して止めます。



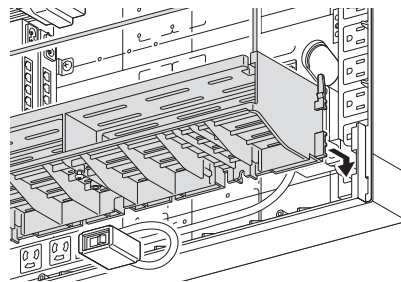
バインドタッピンねじ  
3-10(付属)

3. リセットスイッチの電源タップをベースの左下に付属のねじで止めます。  
リセットスイッチのコンセントを6個口の電源タップの一番下に差し込んでください。

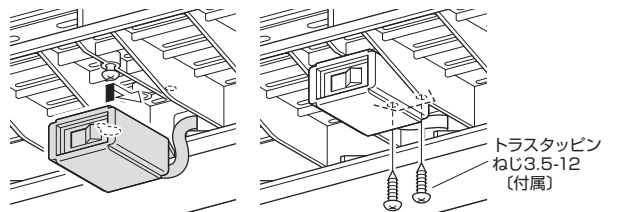


トラスタッピン  
ねじ4-14B0(付属)

4. リセットスイッチのスイッチから電源タップまでの配線を、先ほどノックアウトした箇所を通すようにトレイをベースにセットしてください。



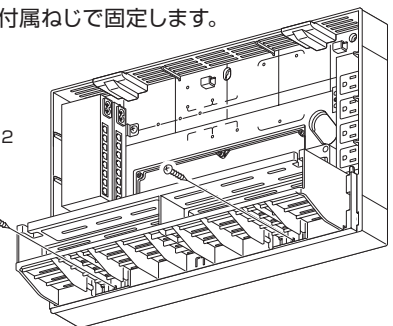
5. スイッチのだるま穴を使ってスイッチをトレイに仮止めし、ねじ2箇所を止めます。



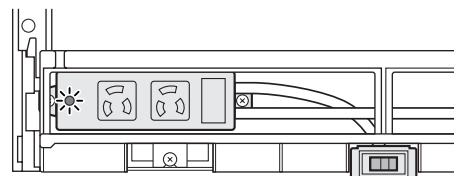
トラスタッピン  
ねじ3.5-12  
(付属)

6. トレイとベースを付属ねじで固定します。

トラスタッピンねじ3.5-12  
(付属)

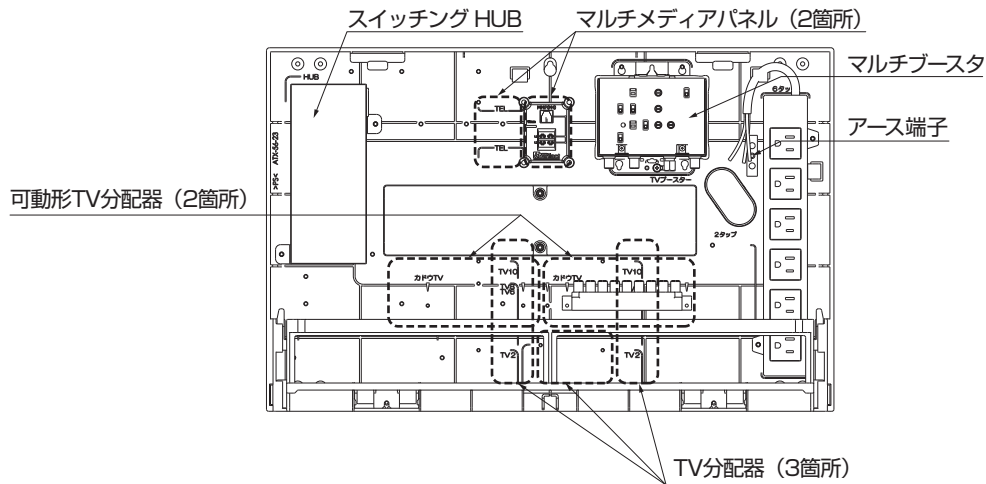


7. 通電確認のためブレーカーを入れスイッチをオンにしランプが点灯することを確認してください。



# 12 内蔵機器の取り付け方法について

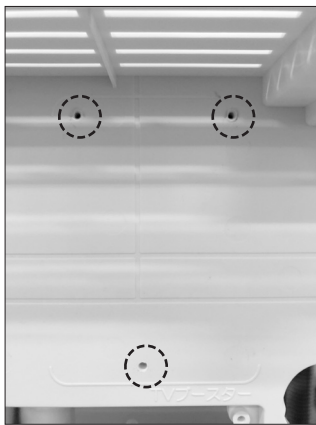
## 各機器の取り付け位置



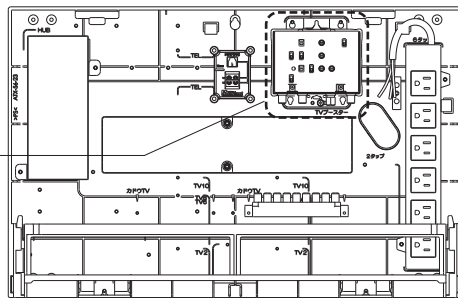
### マルチブースタの取り付け

マルチブースタの取り付け位置は下記になります。情報盤の底面に取り付けてください。

※使用できるTVブースタはアバニアクト製品のみとなります。



拡大

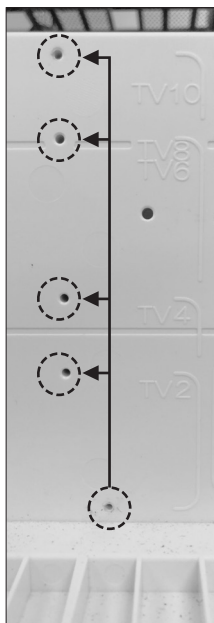


- 上下3点の取り付け穴で固定します。取り付け位置には「TVブースタ」と表示されています。
- 使用するねじは、なべタッピンねじ (+) 3.5-12を使用してください。
- 締付トルク 0.8~1.2 N・m

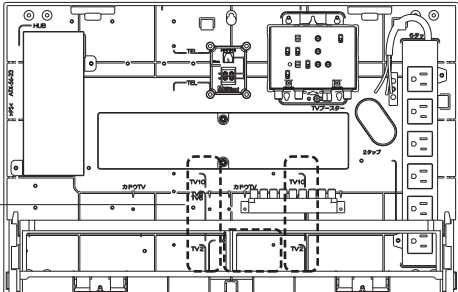
### TV分配器の取り付け

TV分配器の取り付け位置は下記になります。情報盤の底面に取り付けてください。

※使用できるTV分配器はアバニアクト製品のみとなります。



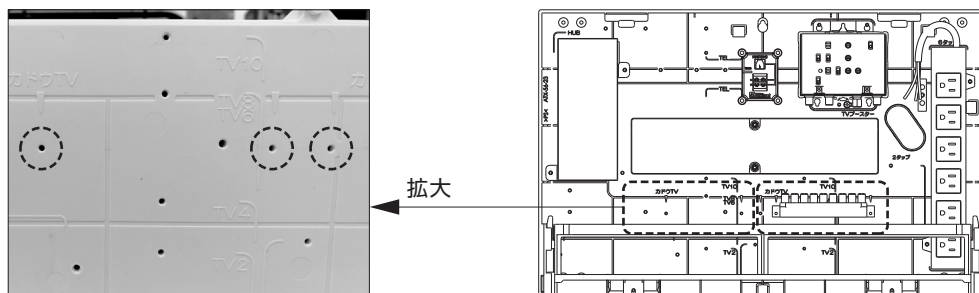
拡大



- 下部の取り付け穴を基点とし、2~10分配のTV分配器を取り付けることができます。
- 取り付け位置は3箇所 (中央部は2分配のみ) があるため、最大20分配まで設置できます。
- 取り付け位置には、左記のように表示されています。
  - 『TV10』 : 10分配器取り付け位置
  - 『TV 8』『TV 6』 : 8分配器または6分配器取り付け位置
  - 『TV 4』 : 4分配器取り付け位置
  - 『TV 2』 : 2分配器取り付け位置
- 分配器に付属するねじを使用してください。
- 締付トルク 0.8~1.2 N・m
- 可動形分配器と取り付け位置が重なりますので、同じ場所に併設はできません。

## 可動形分配器の取り付け

可動形分配器の取り付け位置は下記になります。  
※使用できるマルチメディアパネルはアバニアクト製品のみとなります。

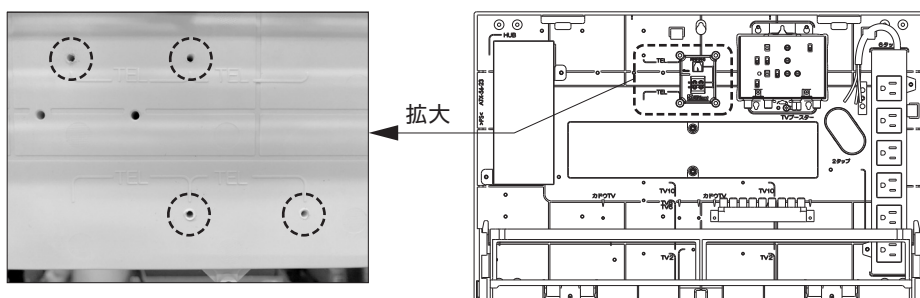


- 外側の取り付け穴を基点とし、4・6・8分配の可動形分配器を取り付けることができます。
- 取り付け位置は2箇所あるため、最大16分配まで設置できます。
- 取り付け位置には「カドウTV」と表示されています。
- 分配器に付属するねじを使用してください。
- 締付トルク 1 N・m
- 分配器と取り付け位置が重なりますので、同じ場所に併設はできません。

## マルチメディアパネルの取り付け

マルチメディアパネルの取り付け位置は下記になります。  
※使用できるマルチメディアパネルはアバニアクト製品のみとなります。

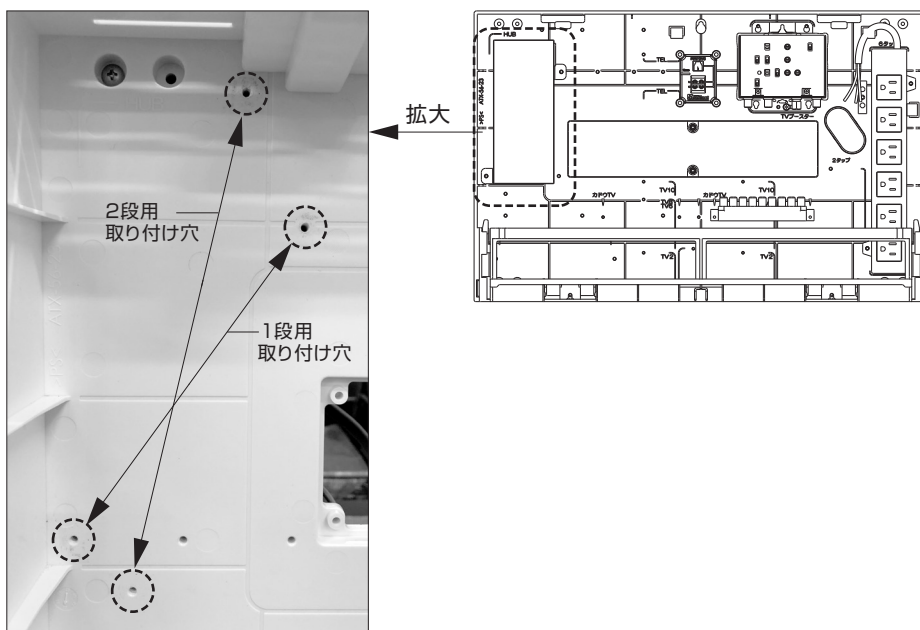
- 組み合わせると、合計2個取り付けることができます。
- 取り付け位置には「TEL」と表示されています。
- ねじは、トラススタッピンねじ (+) 3.5-12を使用してください。
- 締付トルク 0.8~1.2 N・m



## スイッチングHUBの取り付け・増設

スイッチングHUBの取り付け位置は下記になります。HUBは専用の取り付け金具で取り付けます。  
※詳細は同梱のHUBマニュアルをご参照ください。  
※使用できるスイッチングHUBはアバニアクト製品のみとなります。

- 上段、下段で合計2個取り付けることができます。(上段、下段それぞれの取り付け位置は右を参照ください。)
- 取り付け位置には「HUB」と表示されています。
- ねじはトラススタッピンねじ (+) 4-10をご使用ください。
- 締付トルク 0.8~1.2 N・m



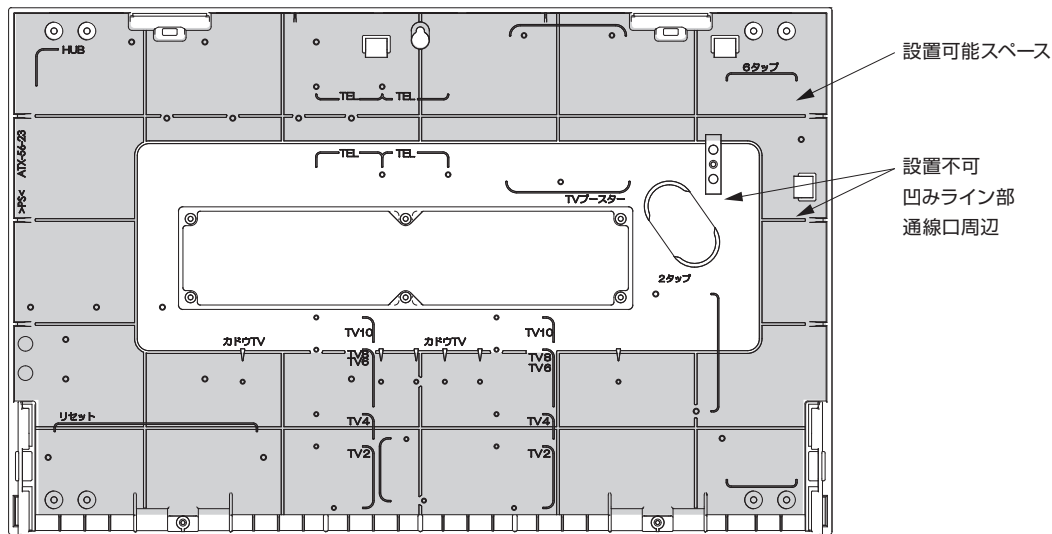
## 13 他社製機器の取り付け方法について

他社製情報機器で壁設置可能な製品を情報盤内に取り付けることが可能です。

### 注意事項

- 下穴径は取り付けるねじの仕様に合わせてあけてください。
- 凹みライン部は裏面にリブがあるため穴あけできません。
- その他の機器との干渉や配線の取り回しをご確認の上、設置場所を決めてください。
- 取り付け用のねじはタッピングねじなどを使用してください。
- 機器の重量やねじの仕様によっては取り付けできない場合があります。設置できない場合はトレイの上に置くなどの処置を施してください。

### 設置可能スペース

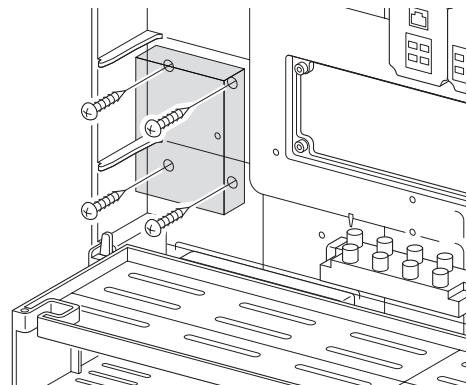
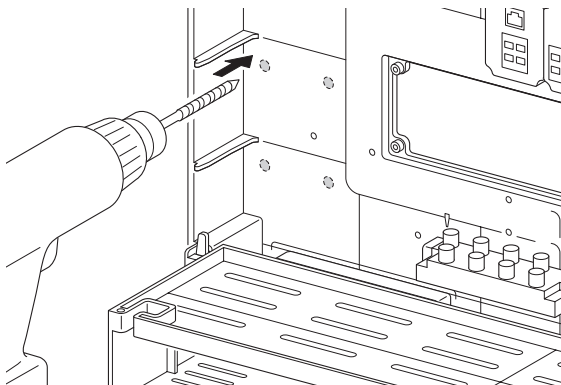


### 他社製機器の取り付け方法

1. 取り付けたい機器の位置を決め、ベース壁面に機器の穴位置を野書きし、下穴をあけます。
2. 機器指定のタッピングねじで取り付けます。

深さ3mm

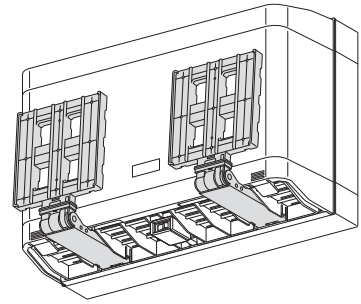
注 15mm以上の深さの穴をあけると壁に当たりますので注意してください。



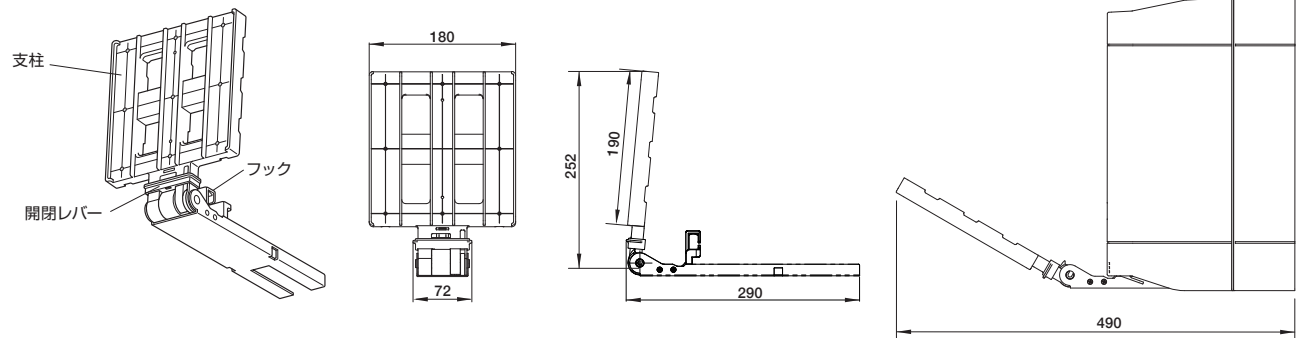
## 14 外付けアタッチメントについて（別売）

情報盤に情報ネットワーク機器を設置する際に、離隔距離などの理由によって情報盤の中に機器が設置できない場合、別売の外付けアタッチメントを取り付けることによって、情報盤の前面に情報ネットワーク機器を取り付けることが可能です。

※最大2セット



### 外付けアタッチメントの各部の名称・外形寸法（mm）



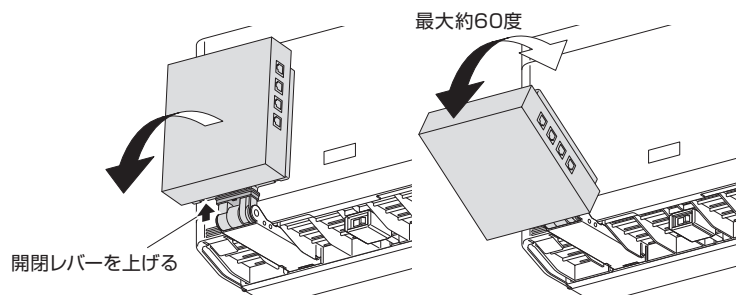
### 外付けアタッチメントの操作方法

外付けアタッチメントを取り付けたまま、情報盤のカバーを開ける際は、外付けアタッチメントの支柱を倒す必要があります。

1. 支柱を支えながら、開閉レバーを上げてロックを解除してください。機器の自重で支柱が倒れてきます。

※支柱が倒れてこない場合は開閉レバーを上げたまま支柱を手でゆっくりと倒してください。

**注** 支柱はゆっくりと倒れるようになっています。強く倒すと破損のおそれがあります



### 外付けアタッチメントの取り付け方法

外付けアタッチメントは左右2カ所のどちらにも取り付け可能です。使用環境に合わせて取り付け位置を選んでください。

※左右2箇所ともに取り付けることが可能です。

1. 情報盤のカバーを外し、外付けアタッチメントを取り付ける箇所の情報盤トレイとベースを取り付けしているねじを外します。

※「カバーの取り外し方」を参照してください。

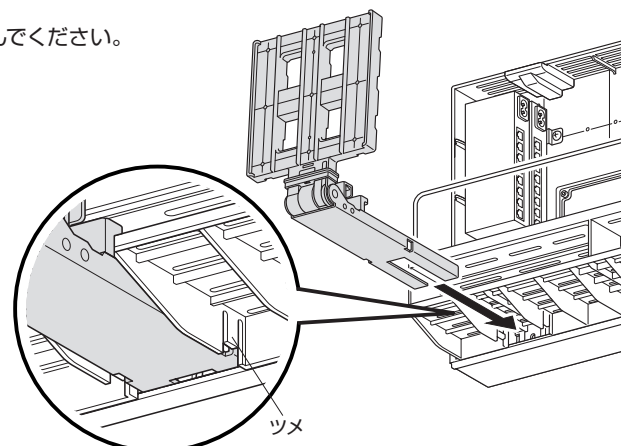
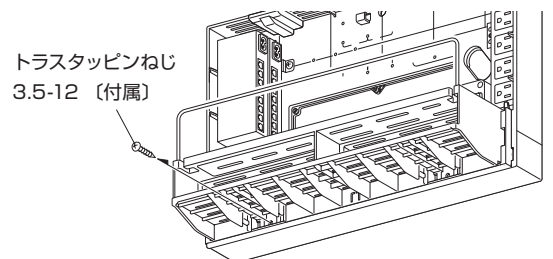
※取り外したねじは紛失しないよう大切に保管してください。

2. 情報盤の下部の差込口に外付けアタッチメントを水平に差し込んでください。

※しっかりと奥まで差し込んでください。

※ツメがかかっているか確認してください。

※トレイの上にフックがかかっているか確認してください。



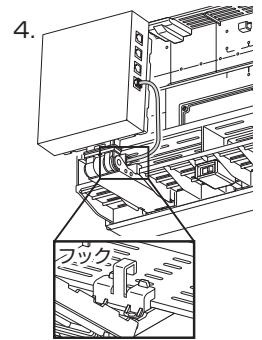
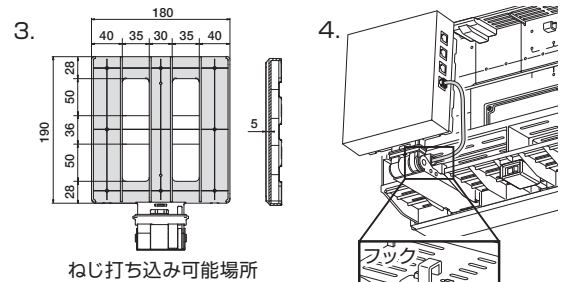


3. 支柱に取り付けたい情報ネットワーク機器を取り付けます。  
取り付けねじ位置は右図を参照してください。

※支柱からねじが飛び出さないように、支柱の厚みを考慮してねじを選定してください。  
※取り付け方法の詳細は、各情報ネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

**取り付け可能な情報ネットワーク機器**

- ・質量2kg以下
  - ・壁掛け可能な機器
- ※その他、取り付けに際しては設置場所や環境、機器の種類などに合わせて判断してください。

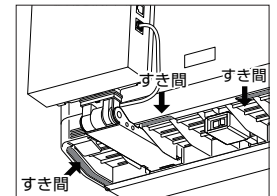
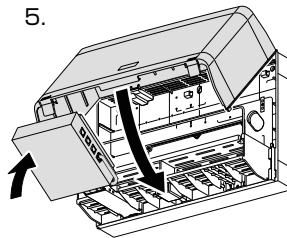


4. 情報ネットワーク機器を配線します。

※電線類はフックにまとめて通線します。

5. 支柱を倒して、カバーを取り付け、支柱を戻して完成です。

※詳細は「カバーの取り付け方」を参照してください。  
※支柱を倒す際は機器の落下がないように十分確認してから行ってください。  
※ケーブルがカバーの開閉で邪魔にならないように長さを調整してください。

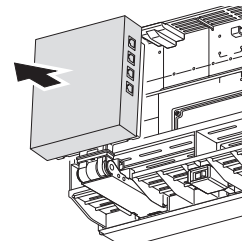


ケーブルはカバーとベースのすき間に通してください。

## 外付けアタッチメントの取り外し方法

情報盤が故障した場合などで取り外す場合は以下の手順で取り外しを行ってください。

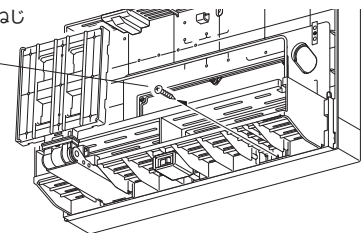
1. ネットワーク機器とその配線を取り外し、外付けアタッチメントを倒してからカバーを外します。



2. 外付けアタッチメントが1個しか設置されていない場合は外付けアタッチメントが設置されていない側の情報盤のトレイとベースを固定しているねじを取り外してください。

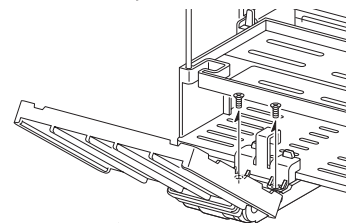
※取り外したねじは紛失しないように大切に保管してください。

トラスタッピンねじ  
3.5-12 (付属)



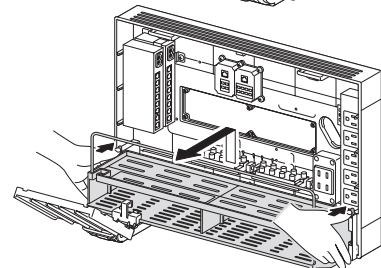
3. 外付けアタッチメントの上部のねじを2本取り外し、フックを取り外します。

※取り外したねじは紛失しないように大切に保管してください。



4. 情報盤トレイのレバーを押しながら持ち上げて、トレイを外します。

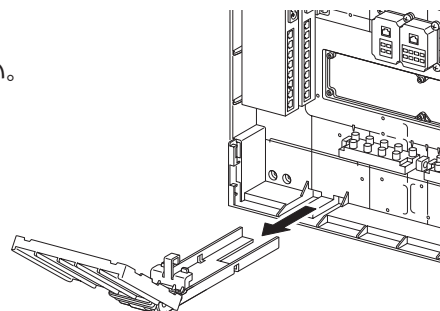
※「3.情報盤の取り付け」トレイの取り外しを参照してください。



5. 外付けアタッチメントを水平に引き抜き、取り外します。

外付けアタッチメントを引き抜いた後、トレイをベースと固定してください。

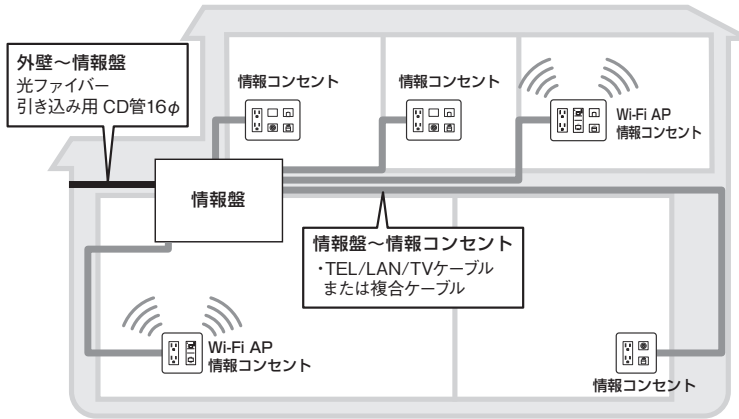
※「3.情報盤の取り付け」トレイの取り外しを参照してください。





## 1 情報配線システムについて

### システム構成例



インターネット接続機器を情報盤につなぐことで、各部屋の情報コンセントでネット利用ができます。

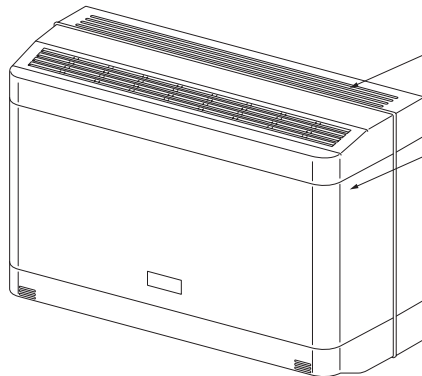
#### 〈特長〉

1. FTTH、CATVなど全てのブロードバンドサービス、通信業者にも対応しています。
2. 光電話（IP電話）、テレビ放送サービスを合わせたトリプルプレイにも対応しています。
3. 各部屋から、パソコン、ゲーム機、ネットワーク対応家電などをインターネット接続できます。
4. 接続は有線LANですので、確実につながり、セキュリティ面も安心してお使いいただけます。

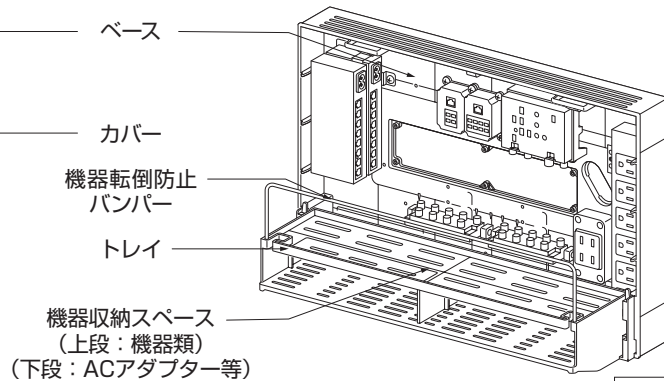
### 情報盤とは

高速インターネットサービスに対応したインフラシステムを構築するための弱電集中BOXです。電話回線を分配、切替するマルチメディアパネルと宅内LANを構築するスイッチングHUB、およびTV系の機器（ブースタや分配器）を収容可能な住宅の制御盤です。

#### 〈カバーを閉めた状態〉



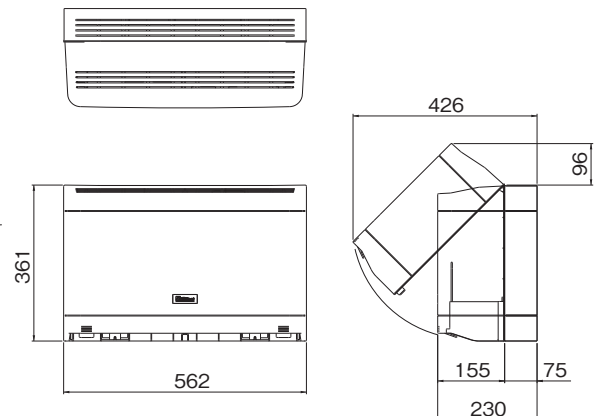
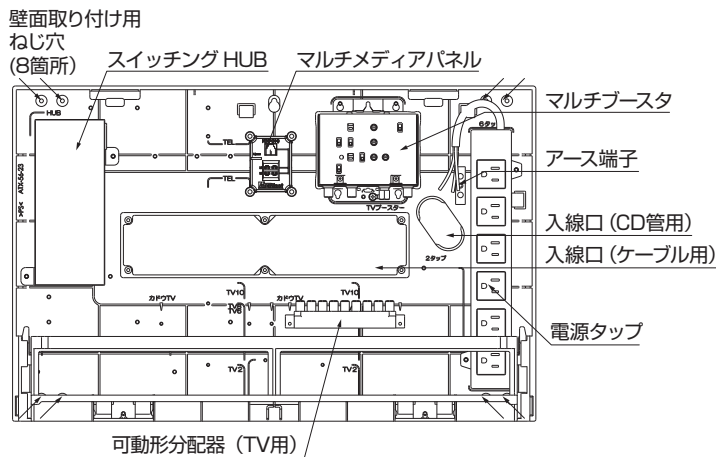
#### 〈カバーを取り外した状態〉



耐荷重  
 トレイ上段: 2kg  
 トレイ下段: 2kg  
 合計 4kg

**内部** ※下図の設置内容および取り付け位置は一例です。

### 基準寸法 (mm)



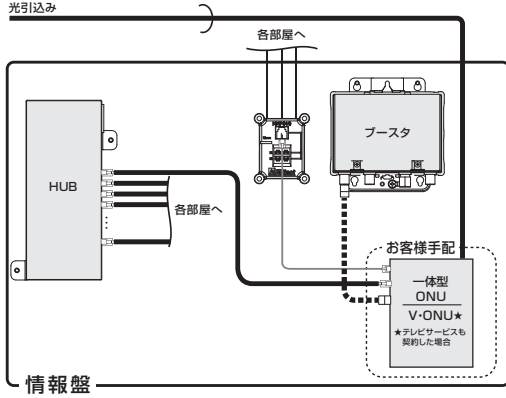
## 2 機器接続手順

### 接続手順

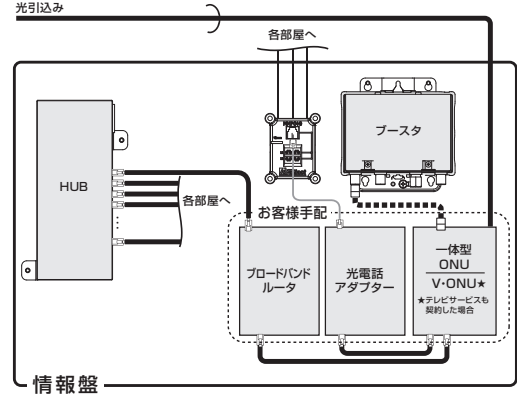
※一例です。詳しくは、ご契約の通信業者様もしくは機器付属の取扱説明書を参考に接続してください。

- ①ご契約の通信業者様にて、情報盤内に各回線を引き込み、モデム・ONUなどで終端します。
- ②各通信機器を所定のケーブルで接続します。

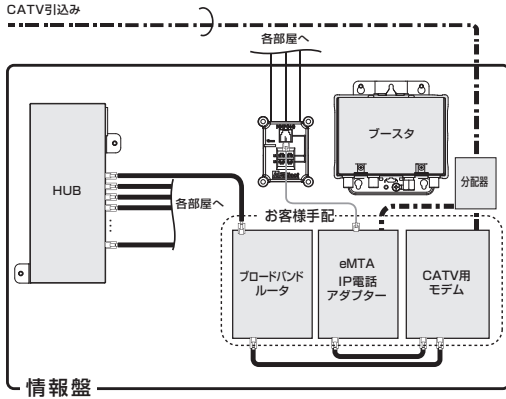
#### 光ファイバーの場合①



#### 光ファイバーの場合②

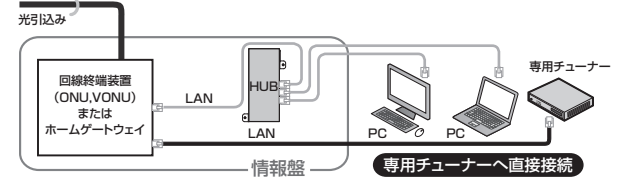


#### CATVの場合



#### インターネットを利用した映像サービスの場合

《接続イメージ》



⚠ HUB経由で専用チューナー(STB)へLAN配線をした場合、通信速度の低下・LAN ポートのランプがたえず点滅する可能性があります。発生した場合は、上記の通り専用チューナーのLAN 配線を変更していただくことで、正常に戻ります。

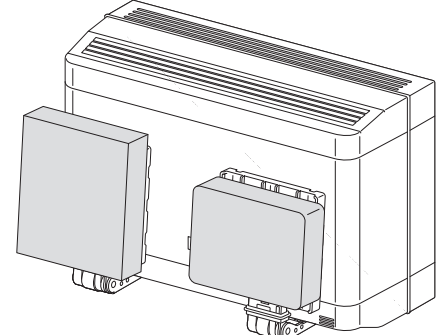
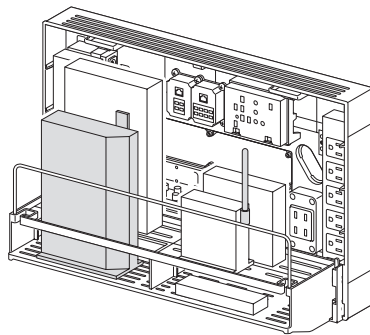
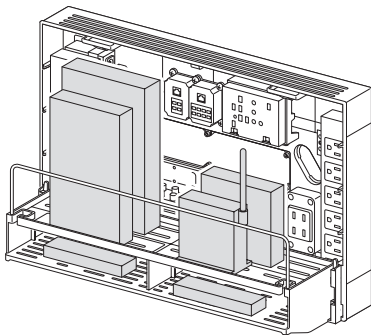
### 機器収容例

トレイ上段はONUやHEMSなどの機器を配置します。  
トレイ下段はACアダプターなどの収納に最適です。

情報機器の高さが高いときはトレイロックアウト部分を切り取って収納することも可能です。  
《ロックアウト方法はP.10をご確認ください。》

離隔距離がある情報機器を設置したい場合、外付けアタッチメントを後付けて機器を取り付けることができます。

《外付けアタッチメントについてはP.15～16をご確認ください。》



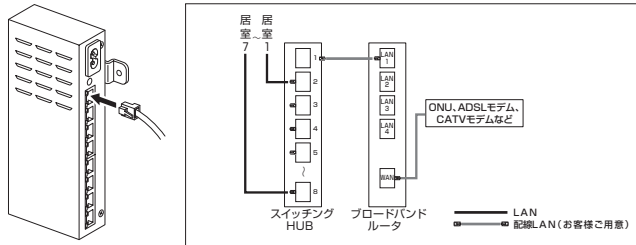
カバーの開閉方法については施工編9ページをご覧ください。

### 3 接続上のご注意

#### LAN (ネット利用) に関するご注意

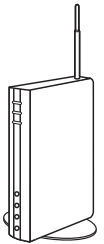
##### 〈HUB設置タイプの場合の機器接続方法〉

ブロードバンドルータとスイッチングHUBは下図を参考に接続してください。



##### 〈ルータの設置について〉

本情報盤にはルータが含まれておりません。必要に応じて別途用意してください。無線LANルータを情報盤に収容した場合、電波が正しく届かない可能性があります。その場合、無線機器の居室内への設置、またはWi-Fi情報コンセントの設置をおすすめします。



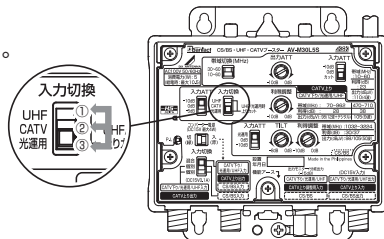
#### TVに関するご注意

##### 〈ブースタの設置〉

安定したTV視聴のため、ブースタ（増幅器）の設置を推奨します。マルチブースタの場合、UHF、CATV、光運用（FTTH）のいずれにも対応可能です。

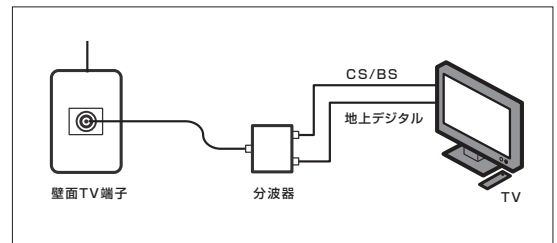
地上波の受信手段によってスイッチを切り替えてください。

- ①：UHFアンテナ
- ②：CATV
- ③：光運用《FTTHサービス》



##### 〈分波器の設置〉

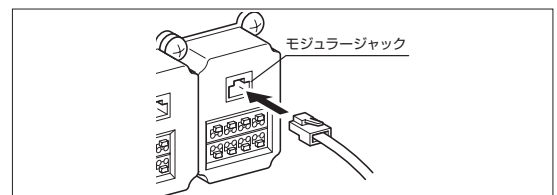
地上波と衛星放送を混合して分配している場合、分波器を使って、TVチューナーまたはレコーダの入力端子に接続してください。



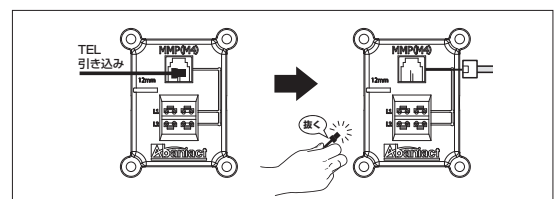
#### TELに関するご注意 \*この器具の施工には工事担任者の資格が必要となります。

##### 〈マルチメディアパネルへの接続方法〉

光（IP）電話アダプタを接続することで、各部屋で電話につながようになります。接続にあたっては、電話アダプタ付属のモジュラーケーブルを利用して、下図のように、上部のモジュラージャックに接続してください。

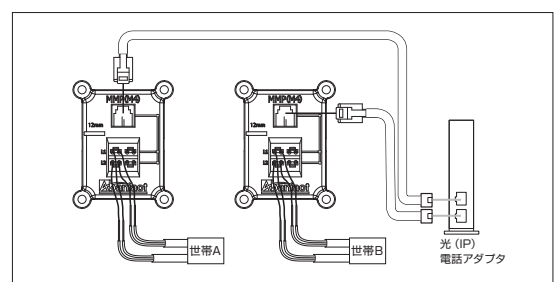


光電話などをご利用の場合は、モジュラージャックに接続されている「TEL引き込み線」を外してください。



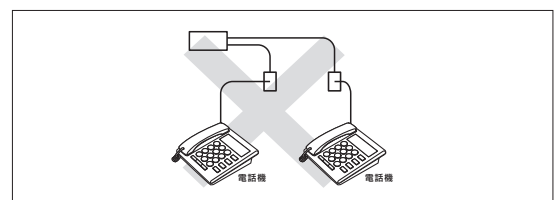
2世帯などで、電話番号を2番号利用する場合は、マルチメディアパネルを増設し、回線（番号）ごとに配線系統を分けてください。

\*マルチメディアパネルの追加は、本情報盤を施工された工務店、電気工事店などを通じて購入してください



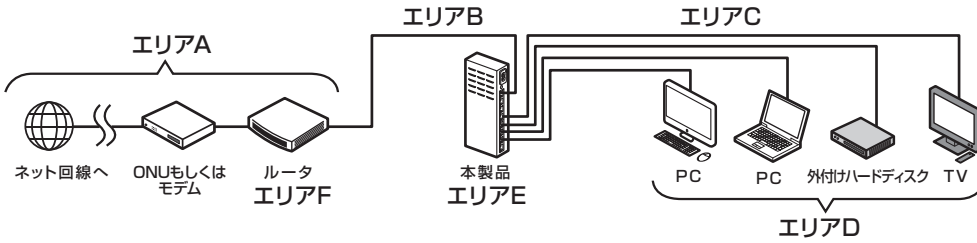
##### 〈電話機の接続について〉

電話回線1回線（1配線）に、複数台の電話機を接続（ブランチ接続）しないでください。FAXの通信エラー、ナンバーディスプレイなどの機能に支障があり、正常に動作できなくなることがあります。



## 4 故障かな？と思ったら

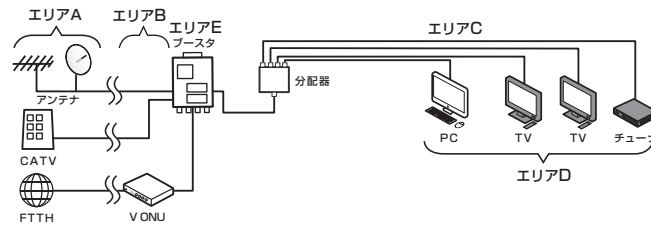
### LAN (情報盤搭載関連部材：HUB)



| チェック項目                          | エリア | 考えられること・対処方法  |
|---------------------------------|-----|---|
| 1 インターネット回線に異常はないか              | A   | インターネット回線自体に不具合が起きていませんか？回線業者様に問い合わせてください。  |
| 2 モデムやルータ、HUB等に異常、接続ミスはないか      | A、E | 各通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか？（※）  |
| 3 LAN配線、LANコンセント、LANケーブルに異常はないか | B、C | 各通信機器間で断線や接点部の接触不良が起きていませんか？LAN、ケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてください。壁内のLAN配線については、ハウスメーカー、電気工事に点検を依頼ください。 |
| 4 ルータ機能、もしくは接続は正しいですか？          | B、F | ルータ機能もしくは通信機器の接続は正しいですか？ルータ機能が無いと複数箇所でも同時にインターネットにつながりません。（※）                                 |
| 5 使用端末に異常はないか                   | D   | お使いのパソコンなどの機器に不具合が起きていませんか？最近設定変更をした、調子がおかしいなど。（※）  |

※各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー、回線業者に問い合わせてください。  
上記とあわせて、Abianact Gigabit HUBの取扱説明書もご参照ください。

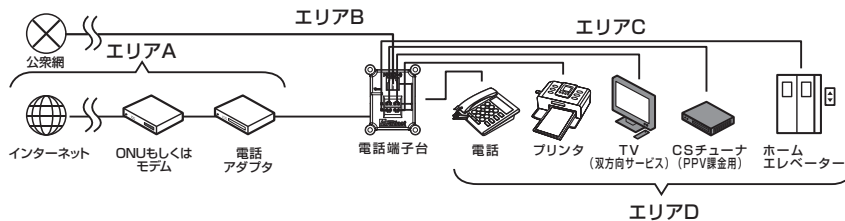
### TV (情報盤搭載関連部材：マルチブースタ、分配器)



| チェック項目                            | エリア | 考えられること・対処方法  |
|-----------------------------------|-----|---|
| 1 アンテナ、CATVもしくはFTTH (光) 回線に異常はないか | A   | 各種、TV放送の受信状況に不具合が起きていませんか？アンテナ受信の場合：アンテナの向きが正しい、混合器の不具合、付近の建物環境の変化などからくる受信障害など。CATV、FTTHの場合：局側の放送障害、VONU、チューナなどの不具合など。詳細は、各放送業者もしくはTV工事業者に問い合わせてください。 |
| 2 同軸 (TV) 引き込み線に異常はないか            | B   | アンテナ、CATVからの引き込み線、もしくはVONU~ブースタ(分配器)間の接続ケーブルに断線や接点部の接触不良が起きていませんか？TV工事業者に点検を依頼してください。   |
| 3 同軸配線、TVコンセント、同軸ケーブルに異常はないか      | C   | ブースタ~分配器~各端末機器間で断線や接点部の接触不良が起きていませんか？TVケーブルの抜き差しもしくは交換をしてください。壁内の同軸配線については、ハウスメーカー、電気工事に点検を依頼してください。  |
| 4 使用端末に異常はないか                     | D   | 最近設定変更をして調子がおかしいなど。お使いのTVなどの機器に不具合が起きていませんか？各機器付属のマニュアルを参照するか、機器メーカーに問い合わせてください。  |
| 5 ブースタの接続・設定・調整は正しくなされているか        | E   | 各引き込み線とブースタの接続手順に誤りや、各種スイッチ設定、出力値のツマミ調整が正しくない場合、「映らない」、「ノイズが混じる」といった現象が起きます。詳細は、各放送業者もしくはTV工事業者に問い合わせてください。   |

上記とあわせて、マルチブースタの取扱説明書、簡単・接続/設定ガイドも参照してください。

### 電話 (情報盤搭載関連部材：電話端子台)



| チェック項目                                       | エリア | 考えられること・対処方法  |
|--|-----|---|
| 1 インターネット回線に異常はないか                           | A   | 電話回線もしくはインターネット回線に不具合が起きていませんか？契約内容も含めて、回線業者に問い合わせてください。  |
| 2 モデムや電話アダプタに異常、接続ミスはないか                     | A   | 通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか？（※1）  |
| 3 TEL引き込み線に異常はないか                            | B   | 外部引き込み線、もしくは電話アダプタ~電話端子台間の接続ケーブルに断線や接点部の接触不良が起きていませんか？外部引き込み線については電気工事に点検を依頼してください。                                       |
| 4 TEL配線、モジュラージャック (電話コンセント)、モジュラーケーブルに異常はないか | C   | 断線や接点部の接触不良が起きていませんか？モジュラーケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてください。壁内のTEL配線については、ハウスメーカー、電気工事に点検を依頼してください。                                 |
| 5 使用端末に異常はないか                                | D   | お使いの電話機など端末機器に不具合が起きていませんか？最近設定変更をした、調子がおかしいなど。（※1）   |
| 6 電話親機を一つの電話回線に2台以上つないでいないか                  | D   | 電話親機を、一つの回線 (配線) に複数台同時につないでいる（※2）と、ナンバーディスプレイやFAX、電話の呼び出し音などが正常に動かなくなります。電話親機の接続は1台だけにしてください。（プリンター、FAX専用機、チューナ等は除く）（※1） |

※1・・・各機器付属のマニュアルを参照するか、機器メーカーに問い合わせてください。

※2・・・ブランチ接続

# 製品保証書

|                       |             |   |          |          |
|-----------------------|-------------|---|----------|----------|
| 製品名/<br>型式            | アバニクト情報盤／   |   | 製造<br>番号 |          |
| ご購入日                  | 年           | 月 | 日        | 保証<br>期間 |
|                       | ご購入日より 1年間  |   |          |          |
| お客様                   | フリガナ<br>お名前 |   | 様        |          |
|                       | ご住所         | 〒 |          |          |
|                       |             |   | 電話番号(    | )        |
|                       |             |   | —        |          |
| 販売店/<br>工務店/<br>電気施工店 | 店名・住所       |   | 〒        | —        |
|                       |             |   | 電話番号(    | )        |
|                       |             |   | —        |          |

## 【保証規定】※必ずお読みください。

### 第1条(保証内容)

当社は、お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に本製品が故障した場合には、本規定に基づき、無償により修理または取り替え(以下、「修理等」といいます)を行います。

### 第2条(保証手続)

- 保証期間内に本製品が故障して修理等を受ける場合、
  - ①本製品が取付け対象とならないときは、本製品および本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。
  - ②本製品が取付け対象となる場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、修理等に際して本書をご提示ください。
- 持込修理の対象商品を直接当社へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、当社が出張により修理等を行った場合には、出張費用はお客様の負担となります。
- 本製品を取り替えた場合には、回収した本製品の所有権は当社に帰属致します。

### 第3条(免責)

- 以下の各号のいずれかに該当する場合、当社は本製品に関して保証責任を負いません。この場合、有料対応となります。
  - ①使用上の誤り及び不当な修理又は改造による故障及び損傷
  - ②お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
  - ③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷
  - ④本製品の設置工事の不良によって生じた故障及び損傷
  - ⑤お客様により本製品の分解・改造・補修・付属品取付け等が行われた場合

⑥本製品の通常の自然消耗・変色等専ら材料の自然特性または経年劣化による場合

⑦本製品に接続された別の機器・部材・ソフトウェア等に起因する場合

⑧本書のご提示がない場合

⑨本書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合又は字句を書き換えられた場合

2. 当社は、本製品の故障または使用によって生じたお客様の間接損害、データ損失のいずれに関しても、一切の責任を負いません。


### 第4条(その他)

1. 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
2. 本書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
3. ご転居の場合には、事前にお買い上げの販売店または当社までご相談ください。
4. ご贈答品等でお買い上げの販売店で修理等をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
5. 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて修理等をお約束するものです。従って、本書によって当社及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は当社までお問い合わせください。
6. お客様にご記入頂いた個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

(ES03 第3版)



お問い合わせ先

- WEB入力フォーム  
<https://www.inaba.co.jp/contact/abaniact/#8>
- コールセンター  
 **0120-390-833**



---

 **因幡電機産業株式会社**  
産機カンパニー ハウジング統括部

---